

# 平成 27 年度事業計画

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

## I. 基本方針

当センター（GEC）は設立以来、緑のボランティアを育てる専門団体として、個人やグループをはじめ、行政、企業、学校などを対象に、多彩なプログラムを提供してきました。

今年度は三つの目標に取り組みます。①都市と農山村の共生を目指し、「緑のふるさと協力隊」国内協力隊活動の推進②緑のボランティア体験・交流事業に対する支援③事務局体制の充実。

この三つのテーマを軸に、今後とも「緑・人を育てる」を基調に、社会のニーズに応えられるよう緑のボランティア活動の発展に寄与したいと思います。

## II. 緑のふるさと協力隊事業

「緑のふるさと協力隊」は、若者たち（都市）と農山村が共に進める列島再生プログラムです。今年度は 22 年目を迎え、28 市町村に 30 名の隊員を派遣します。

### 1. 平成 27 年度（第 22 期）派遣及び活動の実施

- |            |                                   |
|------------|-----------------------------------|
| (1) 人数と市町村 | 28 市町村に 30 名（男 13 名、女 17 名）       |
| (2) 実施期間   | 4 月 2 日～3 月 13 日（年間活動期間）          |
| (3) 事前研修   | 4 月 2 日～4 月 9 日（山梨県立ゆずりはら青少年自然の里） |
| (4) 中間研修   | 9 月 3 日～9 月 5 日（後期に向けて・東京）        |
| (5) 総括研修   | 3 月 10 日～3 月 13 日（公開報告会・東京）       |
| (6) 職員現地訪問 | 6 月中旬より 8 月上旬（活動の調整・打合せ）          |

### 2. 受入先担当者会議の開催

- |        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| (1) 開催 | 5 月 21 日（木）～22 日（金） 1 泊 2 日（東京） |
| (2) 内容 | 受入市町村担当者同士の情報交換及び省庁担当者との意見交換    |

### 3. 地域別ブロックフォーラムの開催

全国を 4 ブロックに分けて、秋に（10 月～11 月）1 泊 2 日のフォーラムを実施します。初日の第 1 部は、現役協力隊員や役場担当者らで交流会を行います。2 日目の第 2 部は参加者を拡大し、地域おこしに関心をもつ近隣の市町村や若者・学生たちにも参加を呼びかけ、拡大ブロックフォーラムを開催します。地域再生運動の輪を広めます。

### 4. 「若葉のふるさと協力隊」（短期プログラム）活動の実施

- |             |   |
|-------------|---|
| (1) 目的      | 農山村に暮らしてみたい、活動してみたいなど、農山村と関わるきっかけを求めている人や、1 年間の「緑のふるさと協力隊」に興味を持っている若者たちを対象に、体験の機会を提供し、「緑のふるさと協力隊」への参加を促します。 |
| (2) 時期      | 前期（夏・秋）後期（冬）を通じて、4 泊 5 日 100 名程度  |
| (3) 場所      | 協力隊活動先及び離島・過疎山村自治体など  |
| (4) 活動内容    | 集落が必要とする作業及びお祭り・伝統行事の手伝い  |
| (5) 集合プログラム | 各地の活動終了後、参加者全員の交流集会を開催、1 泊 2 日を予定。  |

### 5. 「緑のふるさと協力隊」関係団体との連携

- |     |                        |
|-----|------------------------|
| (1) | 「緑のふるさと協力隊」OBOG との協力連携 |
| (2) | その他、自治体や大学など           |

### 6. 平成 28 年度（第 23 期）募集計画及び各種広報活動

- |            |  |
|------------|--|
| (1) 募集人数   | 受入先自治体 40 市町村及び協力隊員 45 名の募集を実施   |
| (2) 協力隊員募集 | ①各地説明会（札幌 仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡） ②大学・専門学校説明会<br>③短期農山村体験プログラムの開催 ④ポスター・チラシの配布 ⑤インターネット・マスコミなど |
| (3) 募集・選考  | 受入先募集は 11 月末・隊員募集は 12 月下旬締切り<br>隊員の面接選考は東京・大阪で 1 月に実施                                      |

### 7. 調査・研究活動

22 年間の実績を取りまとめます。蓄積した資料や材料を分析し、「緑のふるさと協力隊」の募集や事業の充実、また、列島再生活動など、新たな展開に活用します。

### Ⅲ. 体験・交流事業

緑のボランティア活動へのニーズは、個人・団体・企業を問わず広がりを見せています。こうした状況に応えられるよう、これまで培ってきた経験を活かして支援・協力を進めます。

#### 1. 「緑と市民を結ぶ」活動プログラム

##### (1) 一般・初心者プログラム活動

###### ①神奈川県湘南海岸林ボランティア活動

⑦神奈川県藤沢土木事務所なぎさ港湾課、海岸砂防林整備活動を行う。

④日帰りプログラム（草刈り、つるきり、砂草植えなど）年間4回程度

###### ② 長野県赤沢国有林、東京都三宅村など年間各2回、1泊～2泊程度

##### (2)自主グループ「森林・竹林・里山を整備する仲間の会」との連携

北海道旭川市、岩手県一関市、福島県只見町、長野県小海町、栃木県市貝町、茨城県つくば市、埼玉県飯能市名栗、神奈川県箱根・やどりき（寄）・湘南海岸林、千葉県市原市、静岡県富士山、森友

##### (3)「緑の学校」活動プログラム

① 緑の作品や教材を活かし、地域や学校へ出前授業の開催、受入 ②語り部活動 ③作品の貸し出し

#### 2. 企業・団体との支援・協力

企業の社会貢献活動（CSR）を支援し、さまざまなプログラムを応援する。

(1) メタウォーター株式会社（東京都奥多摩町）

(2) 沖電気工業株式会社（静岡県伊豆市）

(3) JEC連合（滋賀県高島市朽木）

(4) 電機連合（岩手県陸前高田市）など

#### 3. 各種展示会及びイベント参加

(1) 神奈川県平塚緑化祭り

4月25日（土）

(2) メーデー（代々木公園）

4月29日（水・祝）

(3) みどりとふれあうフェスティバル（日比谷公園）

5月9日（土）～10日（日）

(4) 中央区エコまつり

5月31日（日） など…

#### 4. 中国植林参加プログラム

##### (1) 緑の親善大使活動

緑の親善大使世話人会と連携し、エジンホロ旗、重慶市、豊寧県の活動を推進

##### (2) 企業参加プログラム

エジンホロ旗（日本触媒）、重慶市（ローソン）、豊寧県（積水化学工業）

##### (3) 招聘活動 現地カウンターパートを日本に招聘し、交流を深める活動を展開

### Ⅳ. 広報・PR事業

#### 1. 広報誌の発行

##### (1) 機関誌「タマリスク」の発行

①諸事業を紹介し、親しみやすい身近な情報を盛り込んだ機関誌を目指します。

②年間6回発行 12ページ、カラーA4判、2000部

##### (2) 機関誌「緑の通信」の発行

①会員向け情報誌

②年間6回発行、4ページ、A4判、400部

#### 2. 参加者とのコミュニケーションの推進

パネル、ビデオ、資料等の貸出・説明会や展示を積極的に行い、また、市民講座、セミナーを開催し啓蒙・普及に取り組みます。

### Ⅴ. 組織・運営基盤の計画

#### 1. 財政基盤の整備

会員の加入促進、事業収入の増額等、事前の財源確保に努力し、堅実な財政運営を実現して行きます。とくに企業会員・寄付金増に力を入れ、財政の充実に努めます。

#### 2. 共同活動の推進

(1) 国・自治体及び関係機関・団体との共催事業や協力事業を積極的に推進します。

(2) 各地の会員、事業参加者と連携し、展示会やセミナーなど協力活動を推進します。